2019 (平成31) 年度 主な地方創生関連事業一覧

NO	担当課	款	項	目	事業名称	実施内容
1	総合政策課	2	1	7	総合戦略推進事業	総合戦略の進行管理を行い、設定した基本目標の数値目標及び具体的な施策に係る重要業績評価指標(KPI)の達成度を検証するため、地方創生推進事業本部・総合計画審議会において、分析・検証を行う。 効果検証を踏まえ、国・県の動向をにらみながら平成32年度からの第2次総合戦略の策定を行う。
2	総合政策課	2	1	7	しもつけ・未来・プロ モーション事業	知ってもらう、来てもらう、住んでもらう、といった段階的な取組の方向性の中で、まずは「知ってもらう」ためのシティープロモーションを展開する。 YouTube動画やご当地アニメーションなどの媒体を活用し、市の存在・魅力を市内外に発信することにより、本市の知名度を高め東京圏からの新たな人の流れを生み出す。《推進交付金の活用を想定》・シティープロモーション専用サイト「プチハピしもつけ」を配信し、首都圏をはじめとした市外の若年層や女性をターゲットに市の魅力をPRする。・ご当地アニメ「サクラノチカイ」や歴史マンガを活用し、経済循環と賑わいを創出するとともに、知名度の向上や市への愛着心の醸成を図る。・東京圏における移住促進セミナーや東京圏の若者を招いての週末インターンシップを実施し、関係人口を増やし、移住定住促進につなげる。
3	総合政策課	2	1	7	地域連携事業	総合戦略の目標値等の実現を目指し、県や他市町と連携した新たな事業に取り組む。 ・オール栃木によるサイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」の開催 《推進交付金の活用を想定》 ・壬生町、上三川町との1市2町連携会議の開催 ・小山定住自立圏移住定住促進事業
4	総合政策課	2	1	7	移住支援事業	主に東京23区に5年以上居住した者が本市に転入し、県が採用支援の対象とする中小企業等がマッチングサイトに掲載した支援金対象求人に応募し、採用され3カ月以上勤務した場合に1世帯当たり1,000千円(単身者600千円)を支給する。 《推進交付金の活用を想定》
5	総合政策課	2	1	7	地域おこし協力隊事業	都市地域から条件不利地域に住民票を移動し、生活拠点を移した者を、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間地域に居住し、地域ブランドや地場産品の開発、販売やPR等の地域おこし支援などの地域協力活動を行いながら、定住を図る。・観光協会 1名 ご当地アニメを活用した市の観光情報の発信や誘客促進、地域イベントの支援、地域住民との協働 等・シモツケクリエイティブ 1名 古民家カフェ テンピクニックテーブルズを中心とした天平の丘公園周辺の賑わいづくり、市内の資源を連携させた周遊型観光の企画立案、PR活動等・コミュニティFM 1名 コミュニティ FMの立ち上げ支援のため、平成31年度に募集を開始する。《特別交付税措置》

6	安全安心課	2	1	12	市内公共交通運行事業	下野市、上三川町、壬生町と広域バスの運行を行うことにより、公共交通における広域間連携の強化を図ることはもとより、各地域の商工・観光・農業資源等の更なる向上を図り、魅力度を高め、新たな人の流れを生み出す。 《推進交付金の活用を想定》
7	商工観光課	7	1	3	観光振興事業	観光関係団体及び協議会を通して、県内の観光に関する情報の収集及び自治体間の連携を深め、市内外へ下野市のPRを図る。 平成31年度から5か年計画となる「第二次観光振興計画」の進捗管理を徹底し、DC終了後、オリンピック・パラリンピック開催 を踏まえた観光振興を図る。
8	商工観光課	7	1	3	観光プロモーション事業	市民及び来訪者が参加できるイベントを開催し、下野市の認知度を高め、観光客や交流人口の増加を図る。 ・天平の丘公園や史跡を活用した燈桜会
9	商工観光課	7	1	3	下野ブランド推進事業	地域資源を下野ブランドとして認定しPRすることにより、シティセールスをはじめ、地域経済の発展、人的交流の拡大、地域の活性化を図る。 ・下野ブランドとエール大使を活用したイベントを開催し、ブランドの周知と下野市のPRを行う。
10	都市計画課	8	4	1	定住希望者住宅取得支援 事業	東京圏からの市内定住希望者への住宅取得時支援 ・定住促進住宅新築補助金::定住者にたいする住宅取得に対する補助 基本額 400千円 子ども加算1人 100千円 ・家庭菜園整備事業::希望者に対し敷地内に家庭菜園を整備 上限税込み216千円 ・東京圏等でのPR活動
11	生涯学習 文化課	10	5	1	社会教育事業	・婚活コミュニケーションカースキルアップ講座の開催
12	文化財課	10	5	3	東の飛鳥プロジェクト推 進事業	・「東の飛鳥」のPR事業(イベント・講演会・シンポジウム等、東の飛鳥ブランドの関連グッズ作成) ・文化財CGアプリの制作
13	スポーツ 振興課	10	6	1	スポーツ振興事業 (ツール・ド・とちぎ運 営協力)	ツール・ド・とちぎの運営協力を行い、見るスポーツを推進し、スポーツ活動に対する意識高揚を図る。